

eライブラリでの勉強の仕方〈参考〉

えら
コースを選んでください

りれきあり

<p>A</p> <p>ドリル <small>たんげんかくしゅう (単元学習)</small></p> <p>単元ごとにドリルにチャレンジ ログインすると記録が残せます</p>	<p>C</p> <p>解説教材 <small>かいせつぎょうざい</small></p> <p>解説教材や穴あけ問題で、学習 のポイントを確認しよう</p>	<p>テーマ学習 <small>がくしゅう</small></p> <p>テーマにそって学習しよう!</p>
<p>B</p> <p>単元テスト <small>たんげん</small></p> <p>テストで 定着度を確認し、弱 点をこくふくしよう</p>	<p>教科書復習テスト <small>きょうかしょふくしゅう</small></p> <p>教科書ページではんいを決め て、かだめしよう</p>	<p>D</p> <p>プリント教材 <small>みょうざい</small></p> <p>プリントを印刷して学習しよう</p>
<p>ライブラリ</p> <p>カード帳や資料集、英会話教材 などで楽しく学ぼう</p>	<p>マイページ</p> <p>自分のきろくをかくにんして、 次の学習につなげよう!</p>	<p>ふりかえり</p> <p>学習や生活のふりかえりをきろ くしよう</p>

Aドリル・B単元テスト

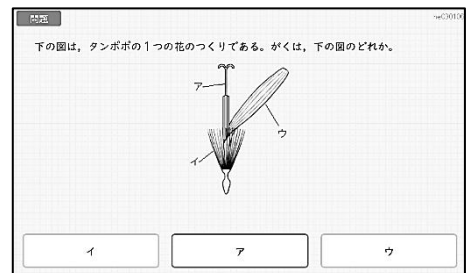
〈こんなときに使える!〉

簡単に復習したい! 自分の理解度を知りたい! 今日勉強したことの振り返りをしたい!

〈勉強方法の例〉

例1) **A**や**B**で苦手を発見。⇒**C**の解説教材で苦手克服!

例2) 使い方② : **C**解説教材で勉強する。⇒ **A**や**B**で、どのく
らい自分ができるようになったか振り返り。



C解説教材

〈こんなときに使える!〉

苦手な内容を復習したい! これから勉強する内容を予習したい。

解説の例	確認問題の例
<p style="text-align: center;">「あなたは何を～しますか。」という言い方</p> <p>【ポイント】</p> <p>What do you like? - I like rice. (あなたは何が好きですか。 - わたしは米が好きです。) <What do you ~?> あなたは何を～しますか。</p> <p>1. <What do you + 一般動詞 ~?>で「あなたは何を～しますか。」とた ずねる言い方になります。答えるときは一般動詞を用いて「わたしは… を～します。」と言います。 (例) What do you want? (あなたは何がほしいのですか。) - I want a bike. (わたしは自転車がほしいです。)</p>	<p style="text-align: center;">「あなたは何を～しますか。」という言い方</p> <p>【確認問題】</p> <p>1. 次の日本語を英文に直すとき、() に入る語の組み合わせとして正しいものを下から選びなさい。 あなたは毎朝何をしますか。 () () you do every morning? ア What - does イ What - are ウ What - do</p> <p style="text-align: right;">答 <input type="checkbox"/></p> <p>2. 下の選択肢ボタンをクリックして、次の文に合う英文を完成させなさい。ただし、ボタンでは、英文の最初の文字も小文字になっています。 あなたは手に何を持っていますか。</p>

〈勉強方法の例〉

例1) 解説を読む⇒確認問題

例2) 確認問題⇒わからないときは、解説を読んで説く(解説の代わりに教科書などを使ってもよい)

※確認問題は、画面上で答え合わせができます。

Dプリント教材

- ① 中学校単元別プリント: 単元ごとの問題演習。力試しやテスト勉強にも使えます。
- ② 高校入試過去問: 都道府県ごと全国の公立入試過去問。「〇年度」で問題が選べます。
- ③ 高校入試過去問データベース: 全国の過去問から、「単元ごと」の問題が選べます。

〈こんなときに使える!〉

難しい問題に挑戦したい! 自分の力を試したい! 得意をさらに伸ばしたい!

〈勉強方法の例〉

- 例1) **A**~**C**などの学習の後、力試しとして**①**をやる。
例2) 受験勉強として**②**、**③**の入試過去問を行う。
例3) 得意な単元を伸ばすため、**③**で得意な単元を選び、入試問題に挑戦する。

※ **②**、**③**の入試過去問は、国語の問題がありません。

※ 基本はプリントアウト(印刷)して行います。画面を見ながら答えをノートに書いてもよいでしょう。

◆勉強の進め方アドバイス

<p>5 / 1 鎌倉時代</p> <p>〈解説プリント〉鎌倉時代。</p> <p>〈单元テスト〉 ① 守護・地頭 ② 源頼朝 ③ 征夷大將軍 ④ 平家物語</p>	<p>〈单元別テスト〉鎌倉時代</p> <p>1 (1) ① 源頼朝 ② ご恩 (2) ① 金剛力士像 ② 平家物語</p> <p>2 (1) 承久の乱 (2) 幕府の支配が 西日本にも広がった。</p>
--	--

「今日は『鎌倉時代』などと、勉強する内容を決めて、**A**~**D**を組み合わせて勉強すると、一日の学習で基礎から発展までステップアップできます。

問題文をすべてノートに写すと、時間や労力がかかるので、「単元」や「番号」をわかるようにして答えだけを書くと、効率よく進めることができます。

前もって学習する単元を決めて、計画的に勉強してみよう!



今日の予定は、数学の「文字式」と、英語の「過去分詞」、社会の「第一次世界大戦」。頑張るぞ!

ここで紹介した方法は、あくまでも一例です。自分に合った方法を見つけよう!